

国語科学習指導案

庄原市立美古登小学校
指導者 加藤 和美

1 日 時 平成 30 年 6 月 25 日 (月) ～ 平成 30 年 6 月 29 日 (金)

2 学 年 第 5 学年 (19 名)

3 単元名 書き手の意図をとらえて、自分の考えをもとう

4 単元設定の理由

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成 20 年)第 5 学年及び第 6 学年「C 読むこと」の(1)のウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を基に設定した。

書き手の意図を捉えるとは、「書き手の考えを、内容や形式から理解すること」である。それを自分の既知の知識や様々な体験と結び付けて感想をもったり考えをまとめたりすることが自分の考えを明確にすることである。これは、中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説国語編中学校第 3 学年の指導事項に示された「批判的に読む」ことにつながるものである。情報過多の時代を生きていく児童にとって、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ力は、情報を取捨選択し活用していくためにも必要な力であると考えられる。

○ 児童観

事前アンケートの結果、以下のような児童実態が分かった。

(単位：人)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
1	説明的な文章の学習は楽しいですか。	6 (33.3%)	6 (33.3%)	6 (33.3%)	0 (0%)
(肯定的な理由) 初めて知ることがあるのでおもしろいから。 知らないことがたくさんあって勉強になるから。 (否定的な理由) 文章を書くのが苦手だから。 意味がよく分からなくなるから。					
2	説明的な文章の学習は日常生活 の中で必要ですか。	10 (55.6%)	4 (22.2%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)
(肯定的な理由) 説明書の内容がだいたい分かったら役に立つと思うから。 説明することは日常生活ではかかせないから。 (否定的な理由) 日常で説明文を使うようなときはあまりないから。 教科書みたいにそんなに難しく考えることはあまりないから。					
3	教科書の説明文を読むときに、疑問をもちながら読んでいますか。	7 (38.9%)	9 (50.0%)	0 (0%)	2 (11.1%)
4	説明文に込められた筆者の意図 を考えることができますか。	3 (16.7%)	12 (66.7%)	3 (16.7%)	0 (0%)
5	筆者の意図に対して自分の考え をもつことができますか。	6 (33.3%)	7 (38.9%)	5 (27.8%)	0 (0%)

説明的な文章の学習について、約 67%の児童が楽しいと答えている。その理由のほとんどが「初めて知ることがあるから」「いろいろくわしく書いてあるから」など内容に関するものである。反対に楽しくないと答えた児童の多くは、その理由を「書くのが大変だから」と答えている。「意味が分からない」「どうまとめていいのかわからない」というものもあった。また、身の回りの説明的な文章に気付いていない児童も数名見られた。

これらのことから、児童は、説明的な文章の学習とは、書かれている内容の読み取りと内容や形式をまねて書く活動であると捉えていることが分かる。また、身の回りにある説明的な文章に気付

いておらず、国語での学びを実生活とつなげることができない児童がいることが分かる。

また、筆者の意図を捉えることやそれに対して自分の考えをもつことについても、肯定的に回答している児童が70%以上いる。しかし、プレテストの結果を見ると、筆者の意図を捉えることができていない児童は約50%である。順序に関する適切性や関係性に対する整合性、全体構成に対する納得性については、多くの児童が答えることが難しいと答え、内容に触れながら正しく理解している児童は22%であった。

これらのことから、書き手の意図を捉え、内容や表現について批判的に読み、自分の考えをもつことの経験が十分ではないことが分かる。

○ 指導観

本単元の指導に当たっては、次の2点の工夫を行う。

一つ目は、身近な素材を教材化したり、自分で選ばせたりすることである。そうすることで、身の回りにある説明的な文章に気付くとともに、他の説明的な文章に対しても主体的に関わることができるようになる。また、身近な素材を活用することは、児童の学習意欲を高め、批判的な読み方を習得させることに有効であると考えられる。

二つ目は、系統的な指導を行うことである。批判的な読みの系統を①順序②関係性③全体構成と整理し、その系統に沿って段階的に指導する。その際、筆者の意図を捉え、その内容や表現について自分の考えをもたせるために、「必要性（〇〇はいるのか。）」「適切性（〇〇はふさわしいか。）」「整合性（〇〇と▲▲はずれてないか。）」「納得性（この説明で納得できるか。）」の4つの観点から文章を批判的に読ませ、自分の考えをもたせる。

5 単元の目標

○身近な素材や教科書教材を読み、書き手の意図を捉え、自分の考えをもとうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

○書き手の意図を捉え、文章の内容や表現を批判的な読みの観点を使って読み、自分の考えをもつことができる。

【読むこと(1)ウ】

○広告などの身近な素材や教科書教材を読み、文章の中の表現の工夫について気付くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ケ)】

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解・技能
【言語活動】 身近な素材や教科書教材を、批判的な読みの観点を活用して読み、書き手の意図を捉えて自分の考えをもつ。		
・身近な素材や教科書教材を読み、書き手の意図を捉え、自分の考えをもとうとしている。	・書き手の意図を捉え、文章の内容や表現を批判的な読みの観点を使って読み、自分の考えをもっている。	・広告などの身近な素材や教科書教材を読み、文章の中の表現の工夫について気付いている。

7 指導と評価の計画（全5時間）

次 (時)	学習内容	読書 活動	評価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一 (2)	○学習の見通しをもつ。 ○教材文を読んで、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ。 (順序)	新聞を読んで記事を選ぶ。	○	◎		・学習の見通しをもっている。 ・書き手の意図を捉え、順序の視点で批判的に読み自分の考えをもっている。	発言 ワークシート
	○教材文を読んで、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ。 (関係性)			◎	○	・書き手の意図を捉え、関係性の視点で批判的に読み、自分の考えをもっている。 ・広告の表現の工夫に気付いている。	発言 ワークシート
二 (2)	○教材文を読んで、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ。 (全体構成)			◎	○	・書き手の意図を捉え、全体構成の視点で批判的に読み、自分の考えをもっている。 ・新聞記事の表現の工夫に気付いている。	発言 ワークシート
	○教科書教材を読んで、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ。			◎	○	・書き手の意図を捉え、批判的に読み、自分の考えをもっている。 ・教科書教材の表現の工夫に気付いている。	発言 ワークシート
三 (1)	○自分が選んだ身近な素材を読んで、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ。 ○学習の振り返りをする。			◎	○	・書き手の意図を捉え、批判的に読み、自分の考えをもっている。 ・新聞記事の表現の工夫に気付いている。	発言 ワークシート

8 本時の展開（本時 1／5）

（１）本時の目標

- ・学習の見通しをもつことができる。
- ・書き手の意図を捉え、順序の視点で批判的に読み、自分の考えをもつことができる。

（２）準備物

ワークシート・教材文

（３）学習の展開

	学習活動	指導上の留意点（・） 個に応じた支援（☆）	評価規準 （方法）
つかむ	1 学習の見通しをもつ。 2 本時のめあてを確認する。 ○教材文の題から書き手の意図を推測する。 ・そうじの仕方を知ってほしい。 ・きれいにそうじをしてほしい。 め 書き手の意図が伝わる文章になっているだろうか。	・見出し等には、書き手の意図が表れているという既習の内容を想起させる。	
	3 教材文を読む。 ○書き手の意図から○○に必要な内容を考える。 ・そうじの順番が大事。 ・何をするかが必要。 ○教材文を読む。 ○書き手の工夫を見付ける。 ・順序が分かるように番号が書いてある。 ・何をすればいいか、短い言葉で書いてある。 4 批判的に読む。 ○観点を知る。（がってんポイント） ①必要性…○○はいるのか。 ②適切性…○○はふさわしいか。 ③整合性…○○と▲▲はずれてないか。 ④納得性…この説明で納得できるか。 ○必要な観点を選ぶ。 ・この順序でいいかどうかを確かめる必要がある。（②適切性） ・この内容でいいかどうかを確かめる必要がある。（③整合性） ・全体を通して納得できるかどうかもある。（④納得性） ○批判的に読む。 ・自分で考えた後、グループで観点に沿って考える。 ・この順番でいいと思う。理由は… ・この内容でいいと思う。理由は… ・この内容はよくないと思う。理由は…だから、○○と直したらいいと思う。 ・順序はいいけれど、内容がわかりにくいところがあるから、納得できない。 ○考えを共有する。	<u>確かな読みの力を育てる</u> <u>指導の工夫</u> ・どのようなことに注目しながら読めばよいのか、見通しをもたせる。 <u>確かな読みの力を育てる</u> <u>指導の工夫</u> ・書き手の意図が伝わる文章かどうかを確かめさせるために、批判的な読みの観点を示す。 ・批判的に読むための観点を、具体的な例を挙げながら示す。 ・今回は内容や順序が大切であることを確認し、どの観点が使えかを考えさせる。 ・グループでの活動にする。グループでイメージをふくらませながら話をすることで、観点にそって自分の考えをもたせる。 ☆友達の話聞いて「なるほど」と思うところを取り入れさせる。 ・よくない場合には、どのように直せばいいのかの修正案も考えさせる。	
考える・表す			書き手の意図を捉えて批判的に読み、自分の考えをもっている。（発言・ワークシート）

振り返る	5 本時のまとめをする。	・ 本時の学習の流れを振り返らせて、学習のまとめをさせる。 ・ どうすれば確かめられるのか分かるようにまとめる。
	ま 書き手の意図が… (確かめ方) 今日のポイント 順序 ①題名から書き手の意図を予想する。 ②説明書などは順序を確かめながら読む。 ③がってんポイントでふり返る。	
	6 本時の振り返りをする。 7 次時の学習について知る。	・ 本時の学習で分かったことや文章に対する振り返りを書かせる。

9 板書計画

め

書き手の意図が捉えて自分の考えをもとう
そうじの仕方

筆者の意図
そうじの仕方を知ってほしい。
きれいにそうじをしてほしい。

書き手の意図が伝わる文章になっている
だろうか。

がってん
ポイント

①必要か
②ふさわしいか
③ずれてないか
④納得できるか

ま

今日のがってんポイント
(きれいにそうじはできるのか)

教材文
(拡大印刷したもの)

①順番はふさわしいか。
②必要な情報(内容)は全部あった?
③この説明で納得できた?

①題名から書き手の意図を予想する。
②説明書などは、順序を確かめながら読む。
③がってんポイントでふり返る。

ふ

番号が書いてあるので、そうじの順番がよく分かる。短い言葉で書いてあるので、ぱっと読んですぐにそうじに取りかかることができるの
いいと思う。しかし、仕上げとは何をすればいいのか分からないので、机をふくとかくわしく
書いたほうがいいと思う。

そうじの仕方。
～各教室～

①机を後ろに下げる。
 ②ぞうきんでふく。
 ③ほうきではく。
 ④机を前に動かす。
 ⑤仕上げをする。
 ⑥窓や黒板のさんなど
細かいところをふく。
 ⑦ごみ捨て(木曜日)

学習の流れ

書き手の意図を捉えて、自分の考えをもとう

書き手の意図が伝わる文章になっているだろうか

自分で読みたいものをさがす

一 読み方を知る。
 ①順序
 ②関係性
 ③全体構成
 教科書の教材を読む。

二
 自分が選んだものを読んで
 自分の考えをまとめる。
 ・何が伝えたいのか
 ・それが伝わる文章か
 (順序・関係性・全体構成)
 ・自分はどう思うか
 (書き方や内容について)

三
 読みの観点
 ①必要性
 ②適切性
 ③整合性
 ④納得性

8 本時の展開（本時 2／5）

（1）本時の目標

- ・書き手の意図を捉え、関係性の視点で批判的に読み、自分の考えをもつことができる。

（2）準備物

ワークシート・教材文

（3）学習の展開

	学習活動	指導上の留意点（・） 個に応じた支援（☆）	評価規準 （方法）
つかむ	1 前時の振り返りをする。 ・確かめ方を確認する。 ①書き手の意図を捉える。 ②目的をもって読む。 昨日はそうじの仕方だったから、順序や内容を確認しながら読んだ。 ③がってんポイントで振り返る 2 本時のめあてを確認する。 ○教材文の題から書き手の意図を推測する。 ・これでシロアリが退治できるということ。 ・この薬を買ってほしい。	・見出し等には、書き手の意図が表れているという既習の内容を想起させる。	
	（め） 書き手の意図が伝わる広告になっているだろうか。		
考える・表す	3 教材文を読む。 ○書き手の意図から必要な内容を考える。 ・どうやって退治するのか。 ○教材文を読む。 ○書き手の工夫を見付ける。 ・短い言葉で書いてある。 ・字の大きさを変えている。 4 批判的に読む。 ○観点を知る。（がってんポイント） ①必要性…○○はいるのか。 ②適切性…○○はふさわしいか。 ③整合性…○○と▲▲はずれてないか。 ④納得性…この説明で納得できるか。 ○必要な観点を選ぶ。 ・理由と結論があっているかどうかを確かめる必要がある。（③整合性） ・全体を通して納得できるかどうかを確かめる必要がある。（④納得性） ○批判的に読む。 ・自分で考えた後、グループで観点に沿って考える。 ・この理由と結論はあっていると思う。理由は… ・この内容でいいと思う。理由は… ・この内容はよくないと思う。理由は…だから、○○と直したらいいと思う。 ・見出しを大きくするなどの工夫はいいけど、説明の理由がはっきりしないから、この広告は納得できない。	確かな読みの力を育てる 指導の工夫 ・どのようなことに注目しながら読めばよいのか見通しをもたせる。 確かな読みの力を育てる 指導の工夫 ・書き手の意図が伝わる文章かどうかを確かめさせるために、批判的な読みの観点を示す。 ・批判的に読むための観点を、具体的な例を挙げながら示す。 ・今回は内容や理由と結論の関係が大切であることを確認し、どの観点が使えるかを考えさせる。 ・グループでの活動にする。グループでイメージをふくらませながら話をすることで、観点にそって自分の考えをもたせる。 ☆友達の話聞いて「なるほど」と思うところを取り入れさせる。	書き手の意図を捉えて批判的に読み、自分の考えをもっている。（発言・ワークシート）

	○考えを共有する。		
振り返る	5 本時のまとめをする。	・ 本時の学習の流れを振り返らせて、学習のまとめをさせる。	
	書き手の意図が… (確かめ方) ①題名から書き手の意図を予想する。 ②理由や事実と結論の関係を確かめながら読む。 ③がってんポイントでふり返る。 今日のポイント 関係		
	6 本時の振り返りをする。 7 次時の学習について知る。	・ 本時の学習で分かったことや文章に対する振り返りを書かせる。	

9 板書計画

め

書き手の意図が伝わる文章になっているだろうか。

筆者の意図
シロアリを全滅できる。
この薬を買ってほしい。

教材文
(拡大印刷したもの)

がってんポイント

①必要か
②ふさわしいか
③ずれてないか
④納得できるか

ま

今日のがってんポイント
(シロアリを全滅できる)

①理由と結論はずれてない？
②この説明で納得できた？
③がってんポイントでふり返る。

ふ

字を大きくして言葉がめだつ工夫があるので、シロアリ退治ができることがよく分かる。全滅などの言葉があったて、つい買おうと思う。なぜ、全滅するのかの理由がはっきりわからないので、どうやって全滅させるのかをはっきりさせるといいと思う。

増え続けるシロアリ被害

シロアリは種類によって、50〜100万匹を繁殖させている！

シロアリ被害 なんとかしたい…でも…

そこで…

プロも認める **シロアリバイバイ**

食べさせて 巣ごと やっつける！

シロアリに 脱皮させないから！

自分で読みたいものをさがす

三 自分が選んだものを読んで自分の考えをまとめる。

・何が伝えたいのか
・それが伝わる文章か
(順序・関係性・全体構成)
・自分はどう思うか
(書き方や内容について)

二 教科書の教材を読む。

一 読み方を知る。

①順序
②関係性
③全体構成

読みの観点

①必要性
②適切性
③整合性
④納得性

書き手の意図が伝わる文章になっているだろうか。

書き手の意図を捉えて、自分の考えをもとう

学習の流れ